

トイレ操作系ピクトグラムが日本工業規格に登録されました

～訪日外国人観光客をはじめ、だれでも安心して使えるトイレ環境を世界へ～

日本のレストルーム空間の質の向上に取り組む 一般社団法人日本レストルーム工業会〔本部：愛知県名古屋市、会長：喜多村 円（TOTO 株式会社 代表取締役 社長執行役員）〕では、“だれでも安心して使えるトイレ環境”を目指し2017年1月に策定したトイレ操作系ピクトグラム（図記号）が、2018年1月に国際規格（ISO7000 機器・装置で用いる図記号）に登録されたことに次ぎ、同年12月に日本工業規格（JIS S0103 消費者用図記号）として登録されました。

登録されたトイレ操作系ピクトグラムはISO7000に登録された6種類に「乾燥」を加えた以下の7種類です。

番号	6.2.3	6.2.4	6.2.5	6.2.6
名称	便器洗浄（大）	便器洗浄（小）	おしり洗浄	ビデ洗浄
図記号				
番号	6.2.7	6.2.8	6.2.9	
名称	乾燥	便ふた開閉	便座開閉	
図記号				

（一社）日本レストルーム工業会では、昨今の訪日外国人観光客の急増を受け、“だれでも安心して使えるトイレ環境”を目指し、2017年1月にトイレ操作各部に表記される標準ピクトグラム（図記号）を策定し、2017年度から各社製品への採用を順次進めています。

これらの標準ピクトグラムが普及することで、訪日外国人観光客を含むあらゆる方々に、観光・宿泊施設や公共のトイレの操作が分かりやすくご利用いただけるようになると考えています。

国際規格に次いで、今回日本工業規格としても登録されたことにより、国内外を問わず、製品への採用が促進されていくことを期待し、より多くの方々に日本のきれいで快適なトイレを体験してもらう機会の増加に繋げていくとともに、「温水洗浄便座」をはじめとする日本の『きれいトイレ文化』のさらなる普及、理解を目指していきます。

<参考>

工業会 HP「JIS S 0103(消費者用図記号)改正について」

<https://sanitary-net.com/trend/standard/standard-jis03.html>

■一般社団法人日本レストルーム工業会について

(一社)日本レストルーム工業会は 2015(平成 27)年 4 月より、(一社)日本衛生設備機器工業会と(一社)温水洗浄便座工業会が合併し、トイレ・洗面室等、水まわりにかかわる設備機器を対象とした事業を実施する組織に再編し新たにスタートした業界団体です。レストルーム業界の持続的な発展を通じて、世界中の人たちの生活文化向上に貢献するという理念のもと、世界中の人たちに、安全で使いやすく環境にやさしい快適なレストルーム空間を提供するため、下記に取り組んでいます。

- 1.<安全・安心>製品の安全性をさらに向上させ、適切な使用方法を広めます。
- 2.<環境貢献>地球温暖化をはじめとする環境問題解決のため、地球にやさしいモノづくりを目指します。
- 3.<国際貢献>製品の国際標準化を進め、海外でのさらなる普及を図ります。

《会員企業(50音順)》

アイシン精機株式会社、アサヒ衛陶株式会社、SANEI株式会社、ジャニス工業株式会社、東芝ホームテクノ株式会社、TOTO 株式会社、パナソニック株式会社、株式会社 LIXIL

＜本件に関する問合せ先＞

一般社団法人 日本レストルーム工業会 東京事務所
東京都新宿区市谷田町2-29 こくほ21 5F TEL:03-5206-5493
ホームページ <https://www.sanitary-net.com/>